TMBRI法 レビュー会議の可視化により 目的の曖昧さを明確にする手法

主查

中谷 一樹 (TIS株式会社)

副主查

上田 裕之 (株式会社DTS)

原 佑貴子 (日本アイ・ビー・エム株式会社)

研究員

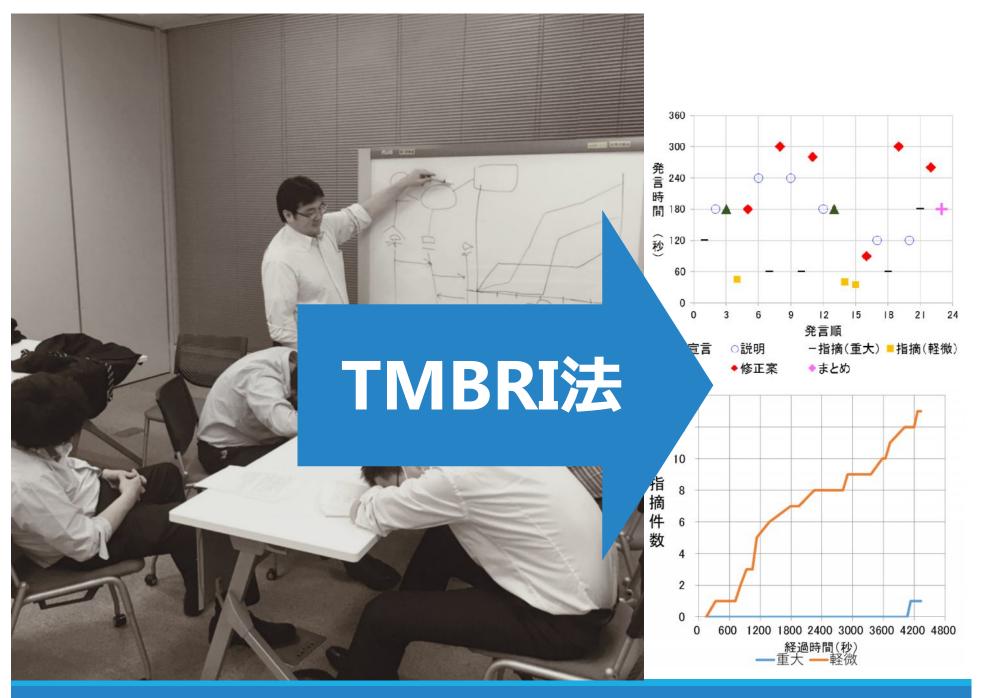
竹森 和哉 (株式会社モバイルインターネットテクノロジー)

田中 拓也 (株式会社インテック)

中山 匡 (株式会社東光高岳)

西澤 賢一 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

湯川健(ソーバル株式会社)





TMBRI法とは

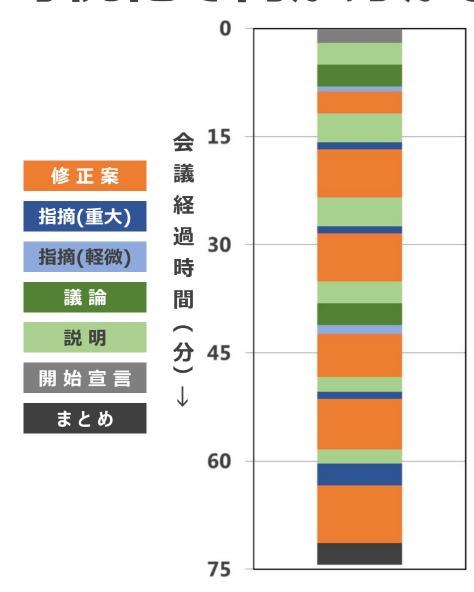
Time Measure Based Review Improvement



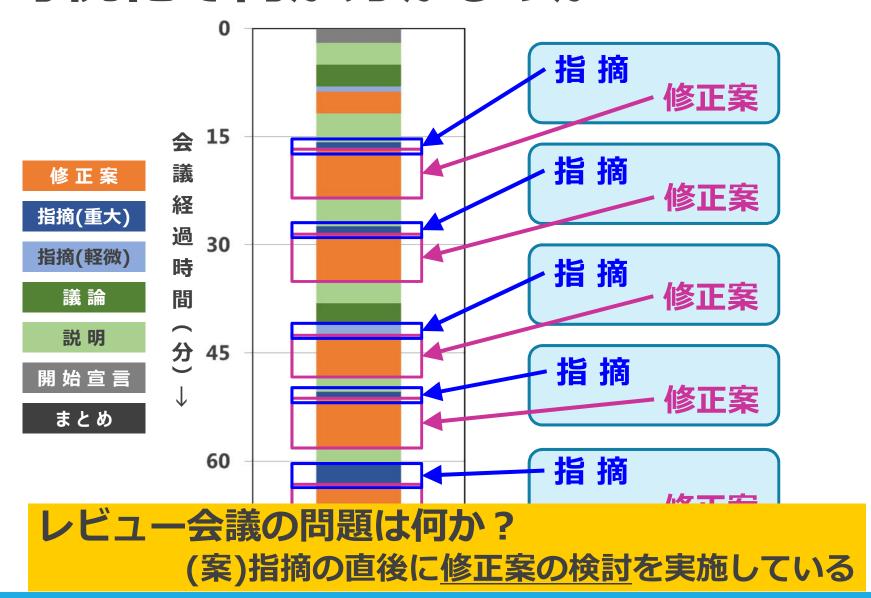


目的が曖昧なことで発生

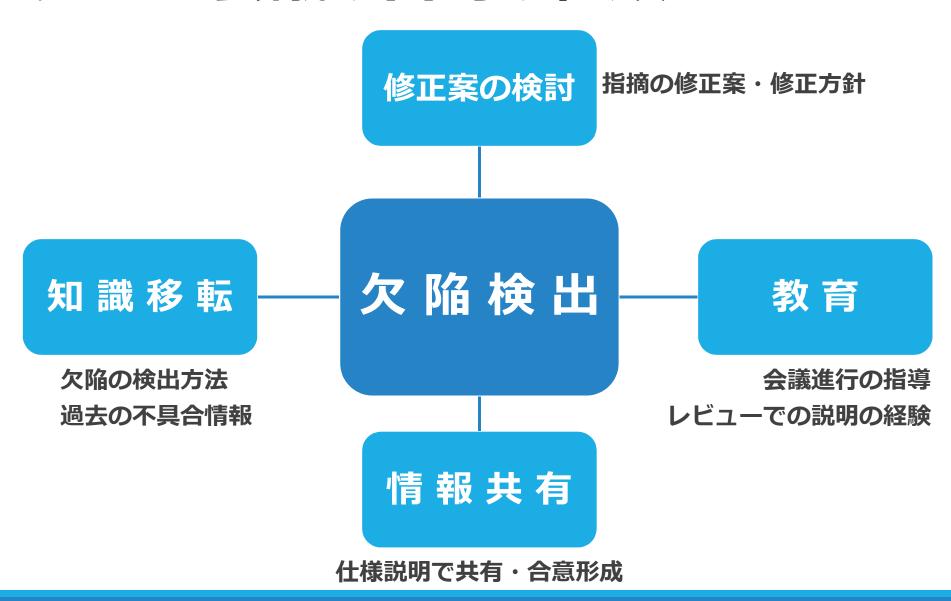
可視化で何が分かるのか



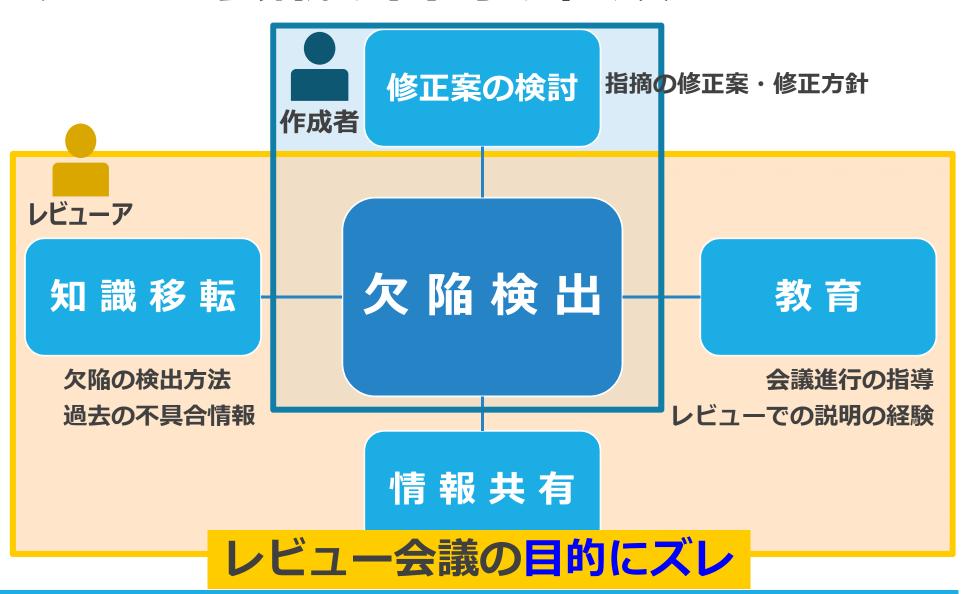
可視化で何が分かるのか



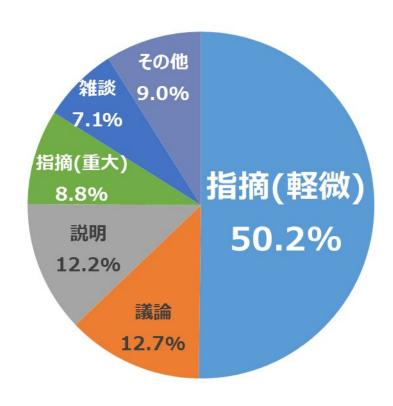
レビュー会議の目的の種類



レビュー会議の目的の種類

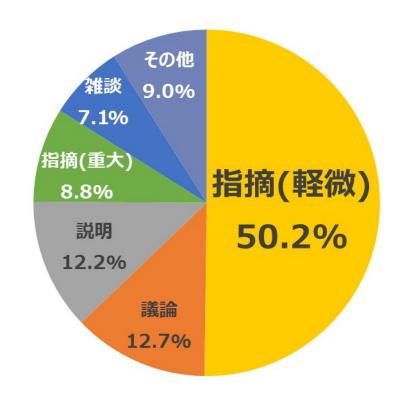


可視化で何が分かるのか(2)



発言の時間割合

可視化で何が分かるのか(2)



レビュー会議の問題は何か? 案)軽微欠陥の指摘に時間を費やしている

レビュー会議の目的のレベル





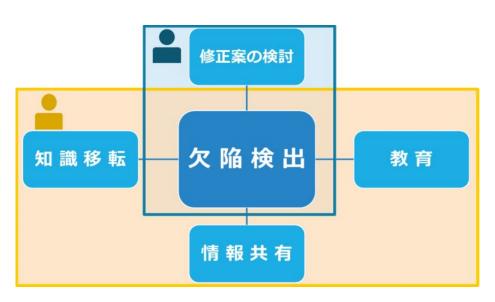
レビュー会議の目的のレベル







レビュー会議の問題の発生原因





目的に<u>ズレ</u>

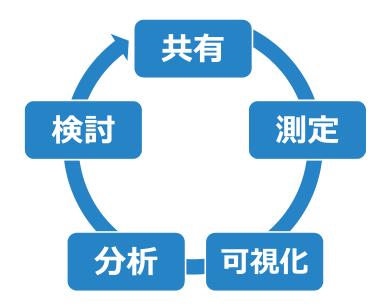
目的のレベルにズレ

レビュー会議の目的が曖昧である

TMBRI法

Time Measure Based Review Improvement

- 1 レビュー会議の時間を測定し可視化
- 2 分析し目的を明確化・共有



時間というのは、たとえ同じ時間でも置かれた状況や立場で感じ方が変わる



しかし、時間は測定可能で絶対的な指標でもある

検証(1)

対象としたレビュー会議

・作成者:若手

・参加人数:5名

・レビュー会議の予定時間: 1.0 _{時間}

・レビュー会議の実施時間:2.2時間

設定した目的

欠陥検出

修正案の検討

検証(2)。 **15** つの修正案検討に多く時間 修正案 30 会 指摘(重大) 振り返り 議 45 指摘(軽微) 経 議論 過 60 修正案を細かく検討 時 説明 間 **75** 無発言 (分) 雑談 90 開始宣言 改善案: まとめ 105 修正案は方針まで 120 詳細は別会議

検証(3)。 **15** 後半に雑談が多い 修正案 30 指摘(重大) 会 振り返り 議 45 指摘(軽微) 経 議論 過 60 意味のない雑談 時 説明 間 **75** 無発言 **分** 雑談 90 開始宣言 改善案: まとめ 105 休憩 120 別日に設定

検証(4)

レビュー会議の実施時間	2.2時間	1
可視化の所要時間	3.5時間	

1.5倍

可視化に時間 → 工夫の余地あり

まとめ

レビュー会議の問題

目的の種類やレベルが曖昧な事で発生

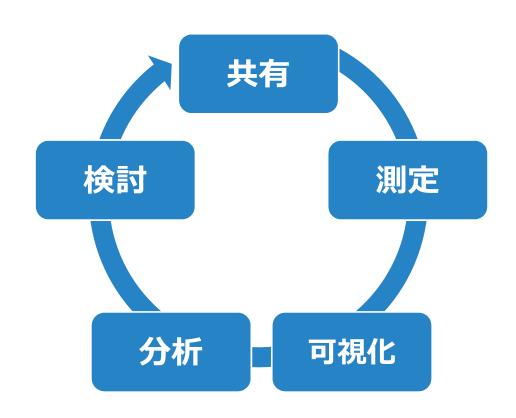
TMBRI法

レビュー会議の可視化により

目的を明確にする手法



ご清聴ありがとうございました



参考資料

発言内容分類

分類	説明
開始宣言	背景の説明、レビューの目的などの確認
説明	成果物の内容読み上げ
議論	指摘に対する議論
修正案	指摘に対する修正案の検討
意図の質問	指摘に対する意図の確認
指摘(重大)	重大欠陥、レビュー対象以外への懸念事項
指摘(軽微)	誤字脱字等の軽度指摘
まとめ	指摘内容の確認、次回予定など
指導	参加者への指導
雑談	レビュー対象と無関係の会話
無発言	参加者が発言をしない時間、開始の遅延時間

目的の共有/設定



分類	説明		欠陥 修正			知識 移転
開始宣言	背景の説明、レビューの目的などの確認	0	0	0	0	
説明	成果物の内容読み上げ	0	0	\circ	0	\bigcirc
議論	指摘に対する議論		0			
修正案	指摘に対する修正案の検討		0		0	
意図の質問	指摘に対する意図の確認	0	0	0	0	0
指摘(重大)	重大欠陥、レビュー対象以外への懸念事項	0	0	\circ	0	\bigcirc
指摘(軽微)	誤字脱字等の軽度指摘					
まとめ	指摘内容の確認、次回予定など	0		\circ		
指導	参加者への指導				0	
雑談	レビュー対象と無関係の会話					
無発言	参加者が発言をしない時間、開始の遅延時間					

アンケート結果

	設問	1	2	3	4
	Q1.他者が持っている課題は共有	3	2	0	0
	できたか	人	人	人	人
効果	Q2.レビューの目的は明確になった	2	2	1	0
検証項目	か	人	人	人	人
	Q3.TMBRI法を適用することで,	2	3	0	0
	改善ができそうか	人	人	人	人
導入容易性	Q4.TMBRI法を自分の組織に導	2	3		
検証項目	入できるか	人	人		